

地元企業の景況

第117号

郡上市八幡町新町958番地1
八幡信用金庫
総務部
TEL(0575)65-3407
FAX(0575)65-3914

<業況判断>

今期業況横ばい、来期も概ね同水準の見通し

I 今期(2024年4月~6月期)

1. 今期の業況判断D.I.は前期比2.6ポイント改善の▲26.5となり、前期(2024年1月~3月期)▲29.1と概ね同水準となった。
2. 業種別では、建設業、サービス業、卸売業で改善、小売業、不動産業で横ばいも、農業、飲食業、製造業で悪化となった。

II 来期(2024年7月~9月期)

1. 来期の業況判断D.I.は▲24.5と今期▲26.5に比べ2.0ポイント上昇と概ね同水準の見通し。
2. 業種別では、農業、小売業で改善、製造業、卸売業、飲食業、サービス業で横ばいも、不動産業、建設業で悪化予想。

業況判断図(業種ごとの業況を表情図で示しました。)

業種	前期 2024年 1月~3月	今期 2024年 4月~6月	来期 2024年 7月~9月
製造業			
卸売業			
小売業			
飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			
農業			
全業種			

D.I.<▲30	▲30≤D.I.<▲15	▲15≤D.I.<0	0≤D.I.<15	15≤D.I.<30	30≤D.I.

調査概要

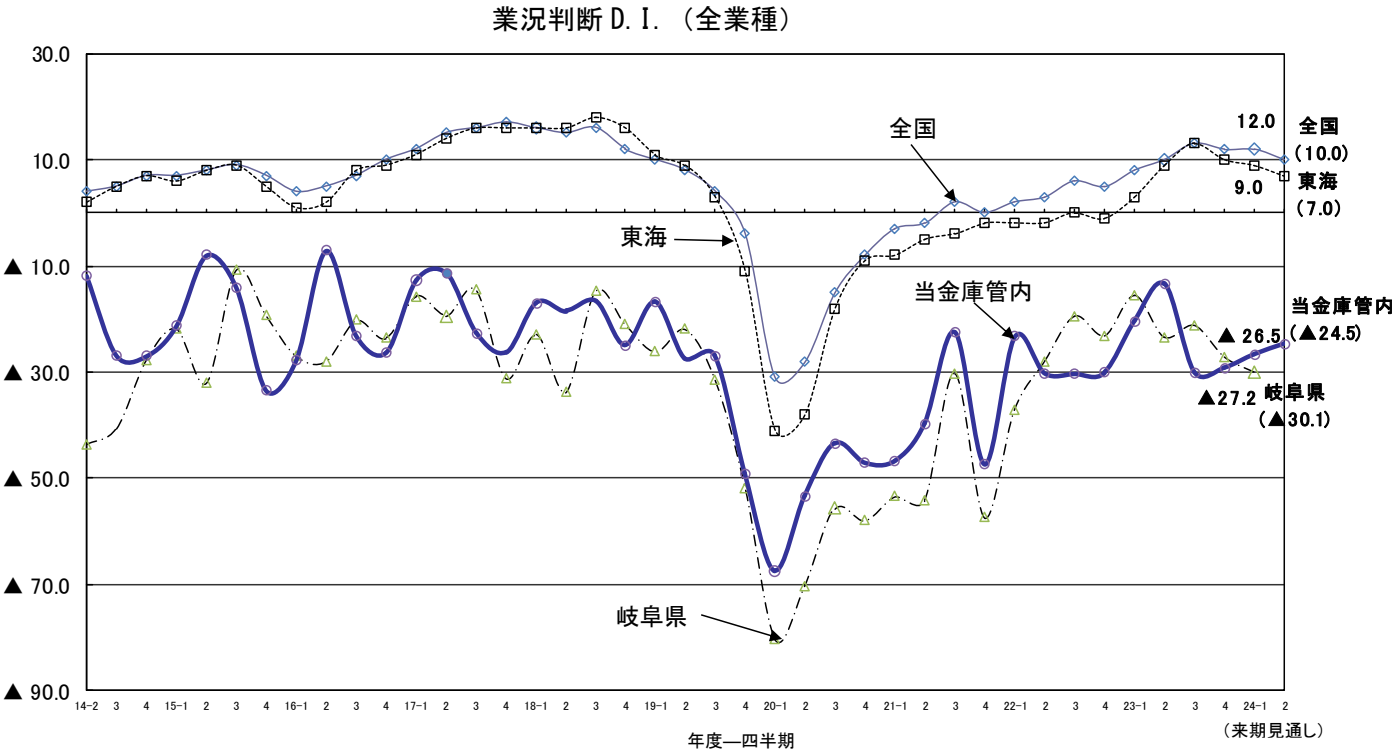
調査目的	郡上市・下呂市・高山市・大野郡白川村の当金庫取引先の景気動向
調査対象	当金庫取引先 229先 (郡上市203社 下呂市14社 高山市・大野郡白川村12社)
調査時期	2024年4月1日~6月30日
調査時点	2024年6月30日時点
回収状況	配付数 229先(うち回収数192先) 回収率 83.8%
調査項目	(1)業況判断 (2)売上高・受注額 (3)採算水準 (4)資金繰り (5)製品(商品)在庫 (6)設備投資 (7)経営上の問題点 (8)業況の回復時期
補足調査	製造業、小売業の「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期との比較
参考資料	有効求人倍率について
調査方法並びに注意事項	・アンケート項目毎の増加(上昇・好転等)企業割合と減少(低下・悪化等)企業割合の差による数値判断…D.I.(ディフュージョン・インデックス) ・数値のほかグラフも掲載しております。 ・比率に関しては小数点第2位を四捨五入しております。 ・建設業に関しては、「売上、受注」項目において「受注」として別掲扱いとしております。

1. 業況判断

全業種の業況判断D. I. (良いー悪い) は、今期(2024年4月～6月期) ▲26.5となり、前期(2024年1月～3月期) ▲29.1と概ね同水準となりました。

業種別では、建設業、サービス業、卸売業で改善、小売業、不動産業で横ばいも、農業、飲食業、製造業で悪化となりました。

来期(2024年7月～9月期)の業況判断見通しは▲24.5と今期▲26.5に比べ2.0ポイント上昇と概ね同水準の予想となっています。業種別では、農業、小売業で改善、製造業、卸売業、飲食業、サービス業で横ばいも、不動産業、建設業で悪化の見通しとなっています。



(注)「全国」「東海」は日銀短観、「岐阜県」は株式会社日本政策金融公庫岐阜支店・多治見支店による。

業況判断

(%)

業 種	2024年1月～3月(前期)				2024年4月～6月(今期)					これから3ヵ月間の見通し			
	良い	良悪なし	悪い	D. I.	良い	良悪なし	悪い	D. I.	(見通し)※	良い	良悪なし	悪い	D. I.
製 造 業	13.0	42.6	44.4	▲31.4	12.0	38.0	50.0	▲38.0	(▲29.6)	14.0	36.0	50.0	▲36.0
卸 売 業	15.4	23.1	61.5	▲46.1	25.0	16.7	58.3	▲33.3	(▲30.7)	25.0	16.7	58.3	▲33.3
小 売 業	11.5	34.6	53.8	▲42.3	15.4	28.8	55.8	▲40.4	(▲30.8)	23.1	32.7	44.2	▲21.1
飲 食 業	33.3	33.3	33.3	0.0	23.1	46.2	30.8	▲7.7	(▲25.0)	30.8	30.8	38.5	▲7.7
サービ業	17.4	43.5	39.1	▲21.7	34.8	21.7	43.5	▲8.7	(4.3)	30.4	30.4	39.1	▲8.7
建 設 業	9.1	57.6	33.3	▲24.2	22.6	48.4	29.0	▲6.4	(▲21.2)	12.9	45.2	41.9	▲29.0
不 動 産 業	16.7	83.3	0.0	16.7	16.7	83.3	0.0	16.7	(16.7)	0.0	83.3	16.7	▲16.7
農 業	16.7	50.0	33.3	▲16.6	0.0	40.0	60.0	▲60.0	(▲16.6)	0.0	80.0	20.0	▲20.0
全 業 種	14.1	42.7	43.2	▲29.1	18.8	35.9	45.3	▲26.5	(▲22.6)	19.3	37.0	43.8	▲24.5

※ () 内は前回調査時での見通し

2. 売上・受注

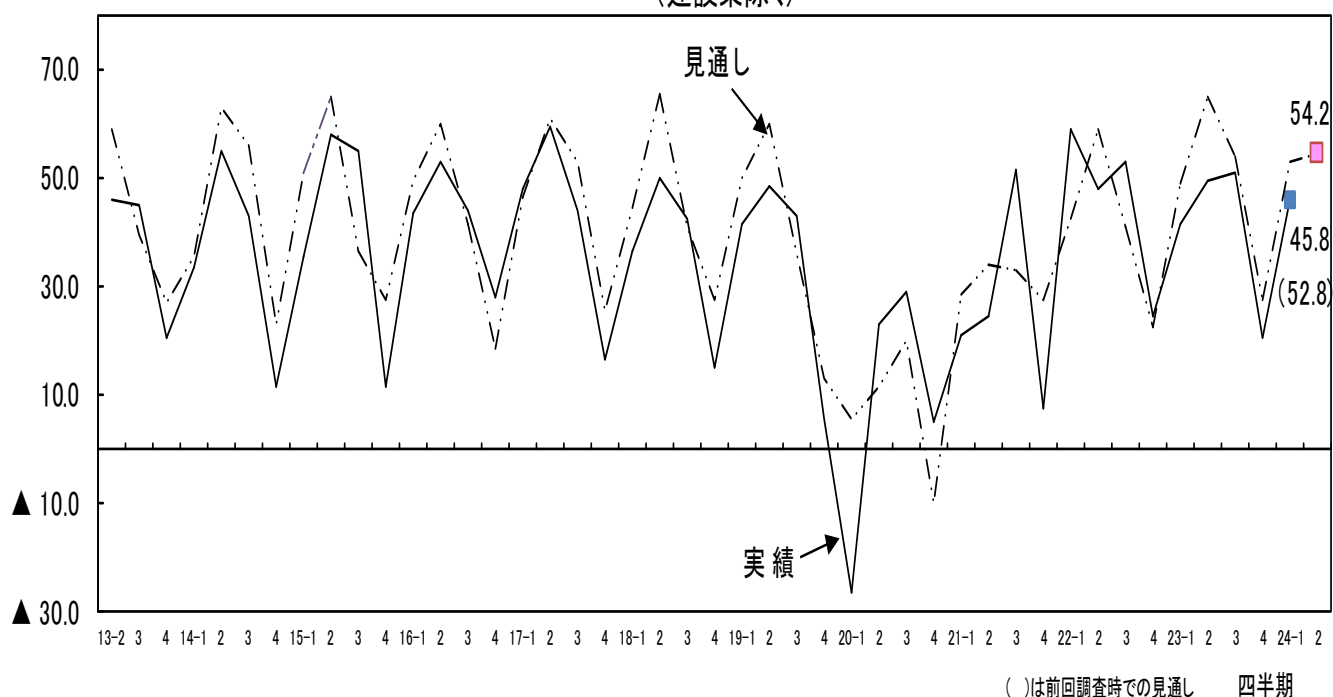
(1) 売上（建設業除く）

建設業を除く売上額判断D. I.（増加－減少）は、今期45.8と前期20.6に比べ25.2ポイント改善となりました。業種別では、不動産業で横ばいも、卸売業、農業、製造業、飲食業、小売業、サービス業で改善となりました。

来期の見通しは、農業、小売業、製造業で改善、卸売業、サービス業で横ばいも、飲食業、不動産業で悪化予想となっています。

また、全業種の予想売上額判断D. I.は54.2と今期に比べ8.4ポイント改善予想となっています。

売上D.I.
(建設業除く)



売上（建設業除く）

(%)

業 種	2024年1月～3月(前期)			2024年4月～6月(今期)				これから3ヵ月間の見通し		
	増 加	減 少	D. I.	増 加	減 少	D. I.	(見通し)*	増 加	減 少	D. I.
製 造 業	48.1	51.9	▲3.8	70.0	30.0	40.0	(48.2)	76.0	24.0	52.0
卸 売 業	46.2	53.8	▲7.6	83.3	16.7	66.6	(84.6)	83.3	16.7	66.6
小 売 業	42.3	57.7	▲15.4	50.0	50.0	0.0	(23.0)	65.4	34.6	30.8
飲 食 業	75.0	25.0	50.0	92.3	7.7	84.6	(66.6)	69.2	30.8	38.4
サ ー ビ ス 業	69.6	30.4	39.2	73.9	26.1	47.8	(21.8)	73.9	26.1	47.8
不 動 産 業	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	(100.0)	83.3	16.7	66.6
農 業	33.3	66.7	▲33.4	60.0	40.0	20.0	(66.6)	80.0	20.0	60.0
全 業 種	60.3	39.7	20.6	72.9	27.1	45.8	(52.8)	77.1	22.9	54.2

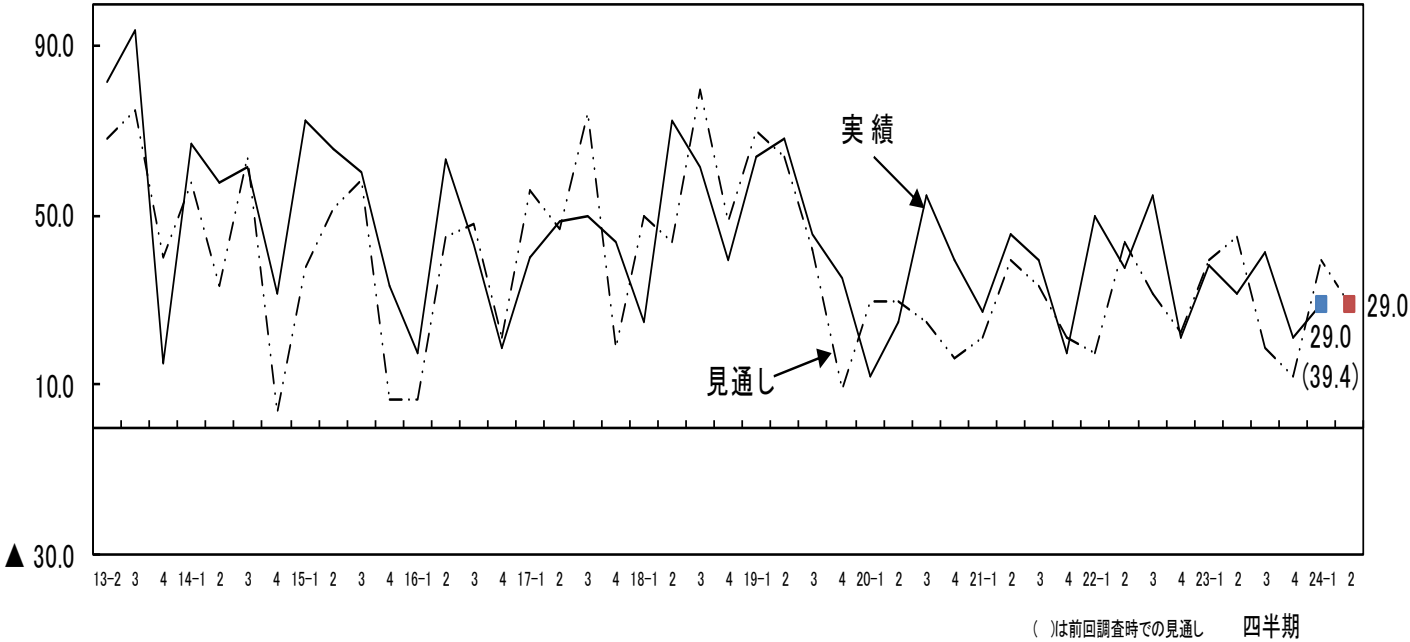
※ () 内は前回調査時での見通し

(2) 受注（建設業）

建設業（建築工事22先、土木工事13先）の受注高判断D.I.（増加－減少）は、今期29.0と前期21.2に比べ7.8ポイント改善となりました。業種別では、土木工事は今期▲45.4と前期50.0に比べ95.4ポイント悪化、建築工事では今期70.0と前期4.8に比べ65.2ポイント改善となりました。

来期の見通しは、土木工事で9.0と今期▲45.4に比べ54.4ポイント改善予想、建築工事で40.0と今期70.0に比べ30.0ポイント悪化予想となっており、建設業全体では29.0と今期と同値予想となっています。

受注 D.I.
(建設業)



受注（建設業）

(%)

業 種	2024年1月～3月(前期)			2024年4月～6月(今期)				これから3ヵ月間の見通し		
	増 加	減 少	D. I.	増 加	減 少	D. I.	(見通し)*	増 加	減 少	D. I.
建 設 業	60.6	39.4	21.2	64.5	35.5	29.0	(39.4)	64.5	35.5	29.0

受注（業種別）

(%)

業 種 (大別)	2024年1月～3月(前期)			2024年4月～6月(今期)				これから3ヵ月間の見通し		
	増 加	減 少	D. I.	増 加	減 少	D. I.	(見通し)*	増 加	減 少	D. I.
土木工事	75.0	25.0	50.0	27.3	72.7	▲45.4	(16.6)	54.5	45.5	9.0
建築工事	52.4	47.6	4.8	85.0	15.0	70.0	(52.4)	70.0	30.0	40.0

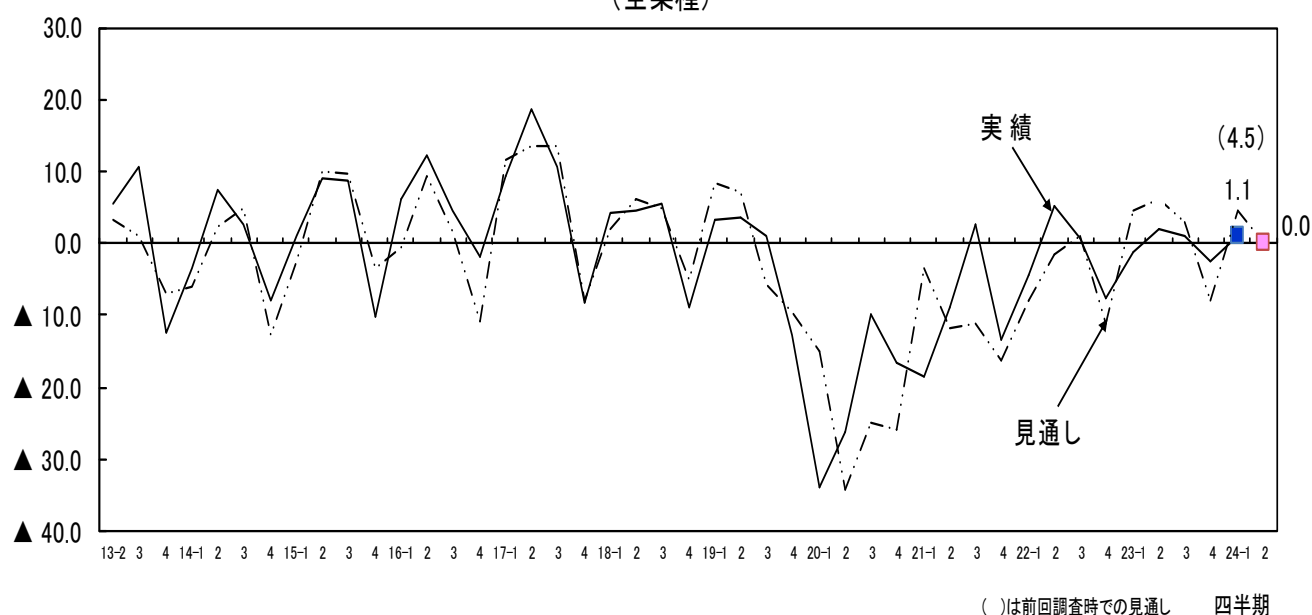
※ () 内は前回調査時での見通し

3. 採算水準

全業種の採算水準判断D. I. (黒字－赤字) は、今期1.1と前期▲2.5に比べ3.6ポイント改善となりました。業種別では、卸売業、小売業、農業で改善、建設業、サービス業で横ばいも、不動産業、飲食業、製造業で悪化となりました。

来期の見通しは、農業で改善、サービス業、製造業、小売業、飲食業で横ばいも、建設業、不動産業、卸売業で悪化予想となっており、全業種の予想採算水準判断D. I. は0.0と今期と概ね同水準の予想となっています。

採算水準D.I.
(全業種)



採算水準

(%)

業 種	2024年1月～3月 (前期)				2024年4月～6月 (今期)					これから3ヵ月間の見通し			
	黒字	収支トントン	赤字	D. I.	黒字	収支トントン	赤字	D. I.	(見通し)※	黒字	収支トントン	赤字	D. I.
製 造 業	27.8	42.6	29.6	▲1.8	20.0	52.0	28.0	▲8.0	(5.6)	24.0	48.0	28.0	▲4.0
卸 売 業	7.7	53.8	38.5	▲30.8	25.0	58.3	16.7	8.3	(▲7.7)	16.7	66.7	16.7	0.0
小 売 業	21.2	48.1	30.8	▲9.6	28.8	50.0	21.2	7.6	(▲3.9)	30.8	48.1	21.2	9.6
飲 食 業	16.7	66.7	16.7	0.0	23.1	46.2	30.8	▲7.7	(0.0)	23.1	46.2	30.8	▲7.7
サービ業	34.8	30.4	34.8	0.0	21.7	52.2	26.1	▲4.4	(8.7)	30.4	39.1	30.4	0.0
建 設 業	30.3	51.5	18.2	12.1	25.8	58.1	16.1	9.7	(15.1)	19.4	51.6	29.0	▲9.6
不 動 産 業	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	(66.7)	33.3	50.0	16.7	16.6
農 業	16.7	16.7	66.7	▲50.0	0.0	60.0	40.0	▲40.0	(▲33.3)	20.0	60.0	20.0	0.0
全 業 種	26.1	45.2	28.6	▲2.5	24.0	53.1	22.9	1.1	(4.5)	25.5	49.0	25.5	0.0

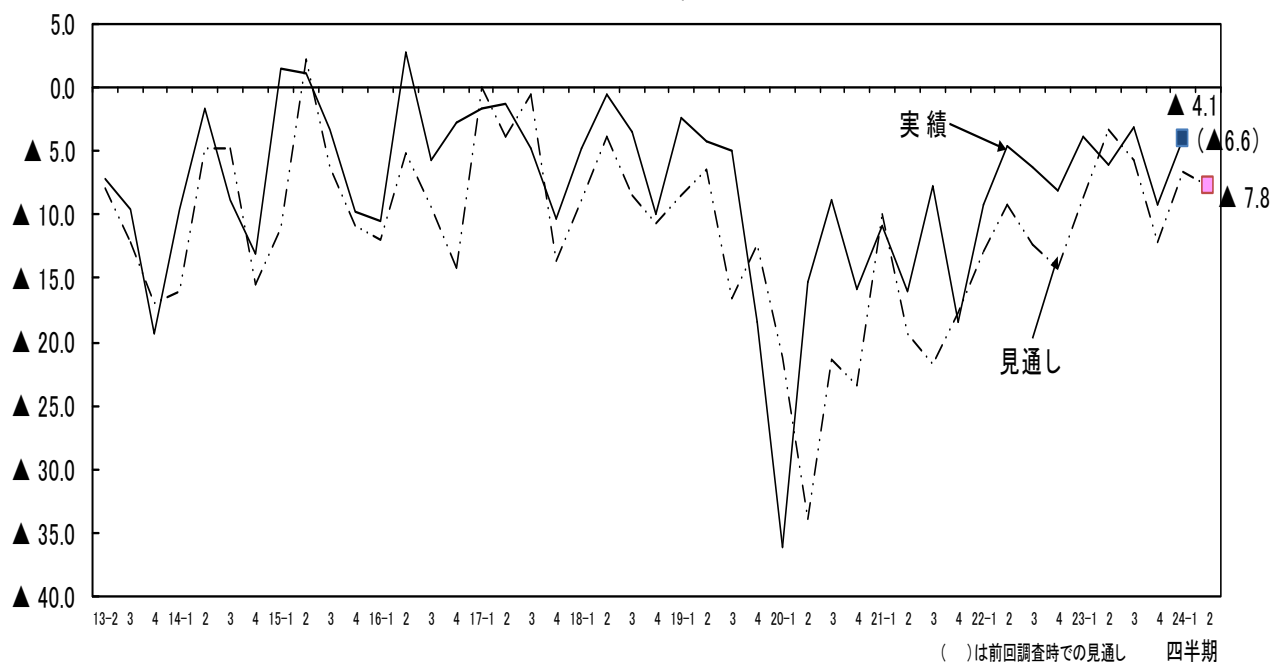
※ () 内は前回調査時での見通し

4. 資金繰り

全業種の資金繰り判断D.I.（好転－悪化）は、今期▲4.1と前期▲9.1に比べ5.0ポイント改善となりました。業種別では、農業、不動産業、サービス業、小売業で改善、建設業、製造業、卸売業で横ばいも、飲食業で悪化となりました。

来期の見通しは、小売業で改善、卸売業、不動産業、農業、製造業、サービス業で横ばいも、飲食業、建設業で悪化予想となっており、全業種の予想資金繰り判断D.I.は▲7.8と今期に比べ3.7ポイント悪化予想となっています。

資金繰りD.I.
(全業種)



資金繰り

(%)

業 種	2024年1月～3月 (前期)				2024年4月～6月 (今期)					これから3ヵ月間の見通し			
	好転	不変	悪化	D. I.	好転	不変	悪化	D. I.	(見通し)※	好転	不変	悪化	D. I.
製 造 業	9.3	74.1	16.7	▲7.4	8.0	78.0	14.0	▲6.0	(▲9.3)	6.0	78.0	16.0	▲10.0
卸 売 業	7.7	61.5	30.8	▲23.1	8.3	58.3	33.3	▲25.0	(▲15.4)	8.3	58.3	33.3	▲25.0
小 売 業	7.7	69.2	23.1	▲15.4	5.8	80.8	13.5	▲7.7	(▲7.7)	9.6	78.8	11.5	▲1.9
飲 食 業	25.0	58.3	16.7	8.3	15.4	69.2	15.4	0.0	(▲8.4)	0.0	76.9	23.1	▲23.1
サ-ビ-ス業	8.7	82.6	8.7	0.0	17.4	73.9	8.7	8.7	(0.0)	17.4	69.6	13.0	4.4
建 設 業	9.1	75.8	15.2	▲6.1	6.5	83.9	9.7	▲3.2	(0.0)	3.2	77.4	19.4	▲16.2
不動産業	0.0	100.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0	16.7	(0.0)	16.7	83.3	0.0	16.7
農 業	16.7	33.3	50.0	▲33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	(▲16.6)	0.0	100.0	0.0	0.0
全 業 種	9.5	71.9	18.6	▲9.1	8.9	78.1	13.0	▲4.1	(▲6.6)	7.8	76.6	15.6	▲7.8

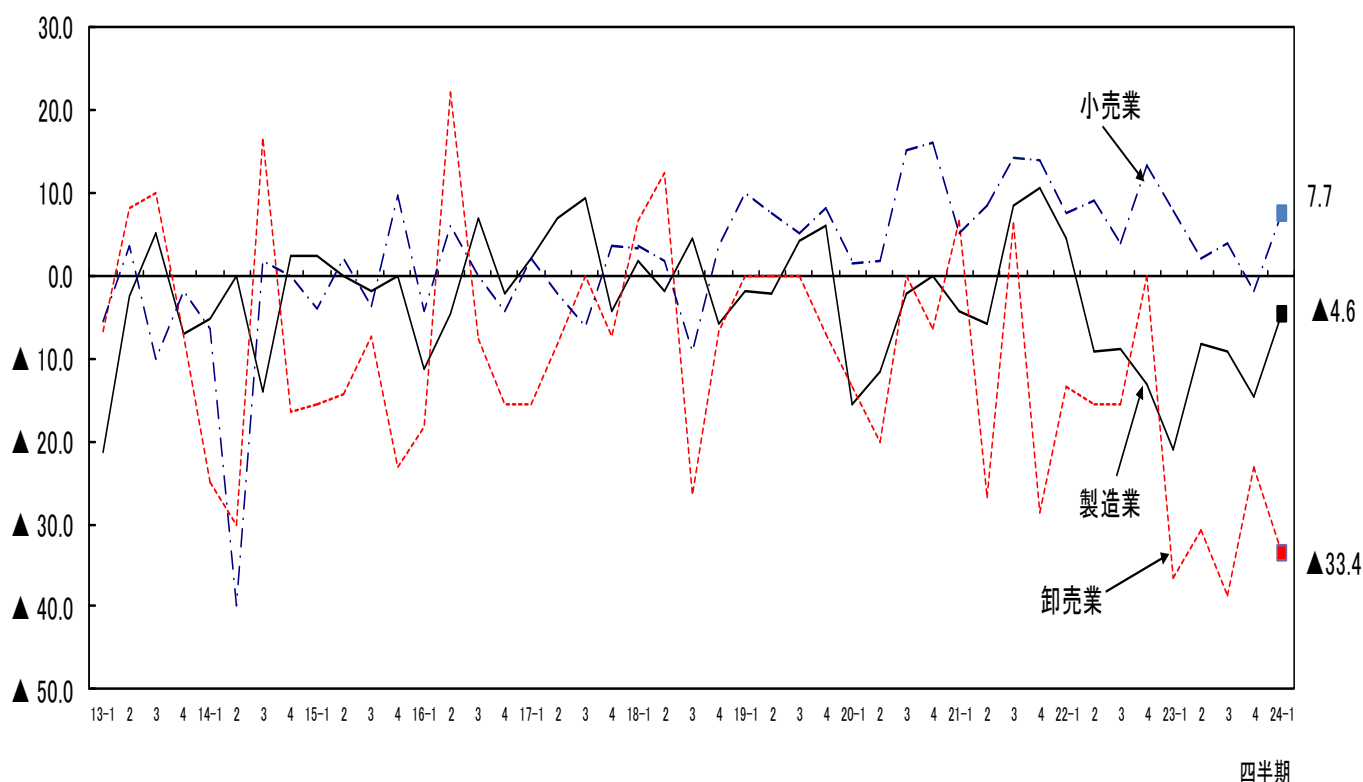
※ () 内は前回調査時での見通し

5. 製品(商品)在庫

製品（商品）在庫判断D. I.（不足－過大）は、製造業で▲4.6と前期比10.0ポイント上昇、卸売業で▲33.4と前期比10.3ポイント低下、小売業で7.7と前期比9.6ポイント上昇となりました。

製品（商品）在庫の過不足感については、製造業では不足感が増加し過大感が減少、卸売業では適正感が減少し過大感が増加、小売業では不足感が増加し適正感が減少しました。

製品(商品)在庫D. I.



製品(商品)在庫

(%)

業 種	2024年1月～3月(前期)				2024年4月～6月(今期)			
	不 足	適 正	過 大	D. I.	不 足	適 正	過 大	D. I.
製 造 業	2.1	81.3	16.7	▲14.6	6.8	81.8	11.4	▲4.6
卸 売 業	7.7	61.5	30.8	▲23.1	8.3	50.0	41.7	▲33.4
小 売 業	15.7	66.7	17.6	▲1.9	26.9	53.8	19.2	7.7

6. 設備投資

設備投資は今期「行った」とする割合は29.2%と前期から6.1ポイント上昇しました。

今期の投資目的としては「機械・設備の新・増設」が23件と最も多く、次いで、「車輛」が15件、「機械・設備の更改」が8件、「事務機器」が7件、「事業用土地・建物」が3件の順となっています。

来期に設備投資を「行う」とする割合は22.4%と今期に比べ6.8ポイント低下しています。

設備投資

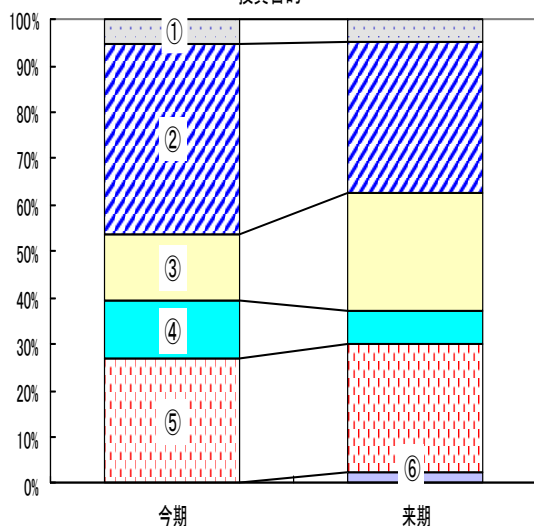
(%)

業 種	2024年1月～3月(前期)		2024年4月～6月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	行 っ た	行わなかった	行 っ た	行わなかった	行 う	行わない
製 造 業	31.5	68.5	34.0	66.0	30.0	70.0
卸 売 業	23.1	76.9	16.7	83.3	16.7	83.3
小 売 業	13.5	86.5	19.2	80.8	17.3	82.7
飲 食 業	8.3	91.7	23.1	76.9	15.4	84.6
サ ー ビ ス 業	30.4	69.6	34.8	65.2	34.8	65.2
建 設 業	21.2	78.8	38.7	61.3	9.7	90.3
不 動 産 業	16.7	83.3	33.3	66.7	33.3	66.7
農 業	50.0	50.0	40.0	60.0	40.0	60.0
全 業 種	23.1	76.9	29.2	70.8	22.4	77.6

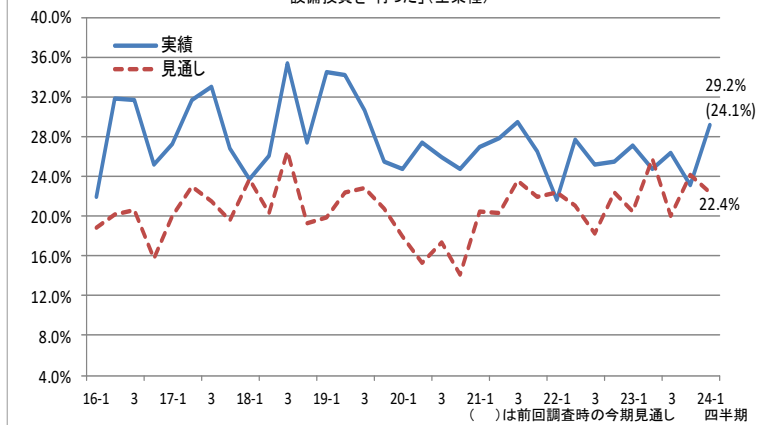
投資目的

区 分	2024年4月～6月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	件数	割合	件数	割合
① 事業用土地・建物	3	5.4	2	4.7
② 機械・設備の新・増設	23	41.1	14	32.6
③ 機械・設備の更改	8	14.3	11	25.6
④ 事務機器	7	12.5	3	7.0
⑤ 車輛	15	26.8	12	27.9
⑥ その他	0	0.0	1	2.3
合 計	56	100.0	43	100.0

投資目的



設備投資を「行った」(全業種)



7. 経営上の問題点

経営上の問題点として、「売上の停滞・減少」が41.7%（前期比+1.0ポイント）と依然として最も多く、次いで「人手不足」が20.8%（前期比▲5.3ポイント）、「利幅の縮小」が17.2%（前期比▲0.4ポイント）と続きました。また、今期は、「事業承継」が5.2%（前期比+4.2ポイント）と、経営上の問題点として捉える企業の割合が増加しました。

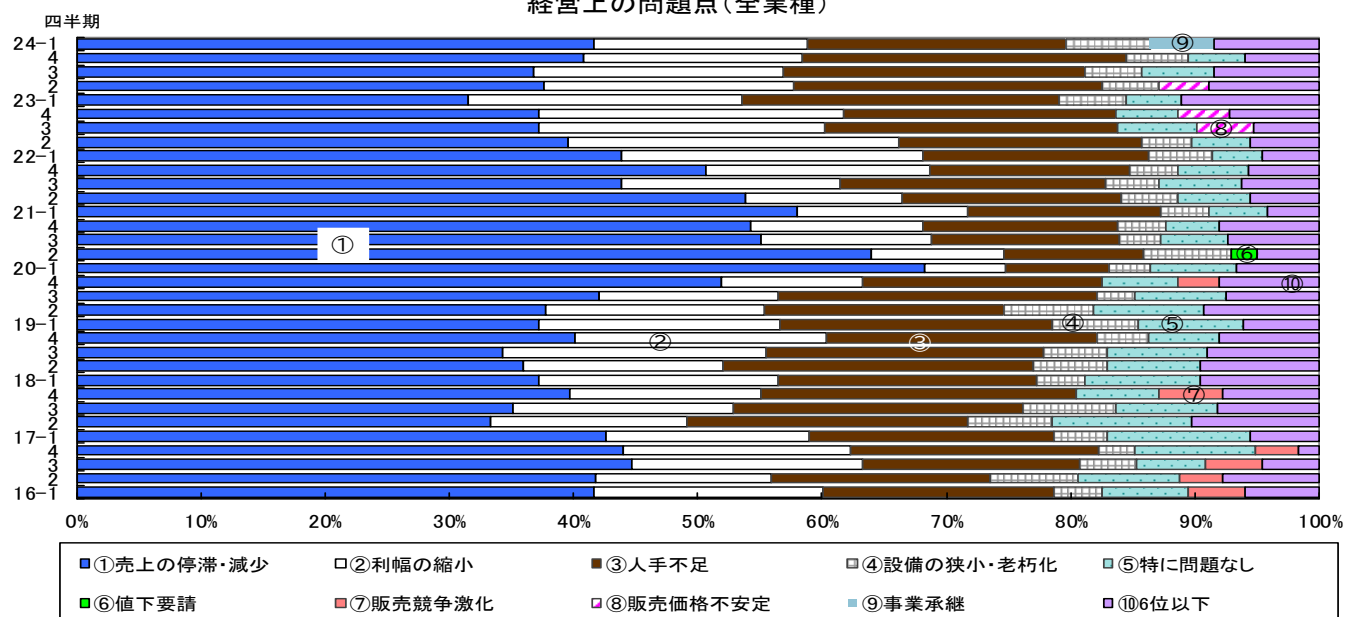
業種別では、製造業、卸売業、小売業、建設業で「売上の停滞・減少」、サービス業、不動産業で「人手不足」の回答が最も多い結果となりました。

経営上の問題点

(%)

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	売上減少 52.0	利幅縮小 14.0	人手不足 14.0	事業承継 6.0	問題なし 6.0
卸 売 業	売上減少 66.7	人手不足 16.7	販売価格不安定 8.3	事業承継 8.3	
小 売 業	売上減少 53.8	利幅縮小 19.2	人手不足 15.4	事業承継 5.8	設備老朽 3.8
飲 食 業	利幅縮小 38.5	売上減少 23.1	人手不足 23.1	設備老朽 15.4	
サ ー ビ ス 業	人手不足 30.4	設備老朽 30.4	売上減少 13.0	利幅縮小 13.0	問題なし 8.7
建 設 業	売上減少 32.3	人手不足 32.3	利幅縮小 22.6	事業承継 6.5	問題なし 6.5
不 動 産 業	人手不足 50.0	売上減少 33.3	競争激化 16.7		
農 業	販売価格不安定 40.0	利幅縮小 20.0	事業承継 20.0	問題なし 20.0	
全 業 種	売上減少 41.7	人手不足 20.8	利幅縮小 17.2	設備老朽 6.8	事業承継 5.2

経営上の問題点(全業種)



区 分	20-4	21-1	2	3	4	22-1	2	3	4	23-1	2	3	4	24-1
売上の停滞・減少	54.3	58.0	53.8	43.8	50.7	43.9	39.5	37.2	37.2	31.5	37.6	36.8	40.7	41.7
利 幅 の 縮 小	13.8	13.7	12.7	17.6	18.0	24.2	26.7	23.0	24.5	22.1	20.1	20.0	17.6	17.2
人 手 不 足	15.7	15.6	17.5	21.4	16.1	18.2	19.5	23.6	21.9	25.4	24.7	24.2	26.1	20.8
特に問題なし	4.3	4.7	5.7	6.7	5.7	4.0	4.6	6.3	5.1	4.4	-	5.8	4.5	-
販売価格の不安定	-	-	-	-	-	-	-	4.7	4.1	-	4.1	-	-	-
設備の狭小・老朽化	3.8	3.8	4.7	4.3	3.8	5.1	4.1	-	-	5.5	4.6	4.7	5.0	6.8
販売競争激化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事 業 承 継	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	5.2
値 下 要 請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※「-」は6位以下を示しています。

8. 業況の回復時期

業況の回復時期は、「すでに回復」が7.8%と最も多く、次いで、「2024年10月～12月」、「2025年4月～9月」がそれぞれ7.3%、「2024年7月～9月」が4.7%、「2025年10月以降」が3.6%と続きました。

また、「わからない」との回答が67.2%と大半を占め、依然として景気の先行き不透明感が強い結果となりました。

業況の回復時期

(先、%)

業 種	回 答 企業数	すでに 回 復	2024年 7月～9月	10月～12月	2025年 1月～3月	4月～9月	10月以降	わからない
製 造 業	50	10.0	2.0	12.0	2.0	4.0	4.0	66.0
卸 売 業	12	0.0	8.3	8.3	0.0	16.7	0.0	66.7
小 売 業	52	7.7	9.6	5.8	1.9	9.6	3.8	61.5
飲 食 業	13	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	84.6
サービ業	23	13.0	8.7	0.0	8.7	4.3	0.0	65.2
建 設 業	31	3.2	0.0	9.7	0.0	9.7	6.5	71.0
不 動 産 業	6	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0
農 業	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全 業 種	192	7.8	4.7	7.3	2.1	7.3	3.6	67.2

補 足 調 査

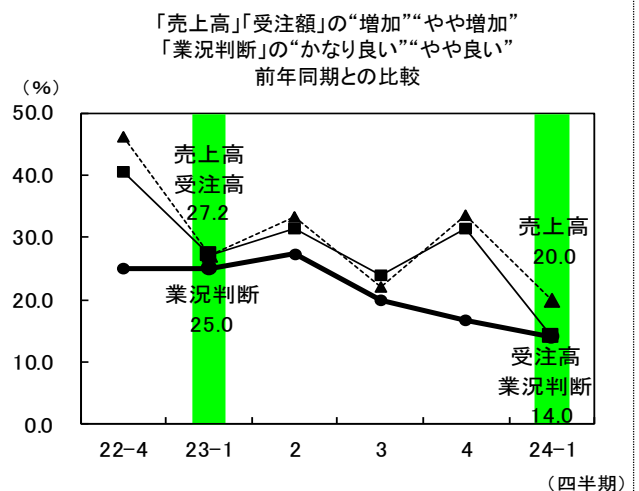
製造業、小売業について「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期(第1四半期)との比較調査を每期実施しております。

<製造業> (回答数 前年同期44先、今期50先)

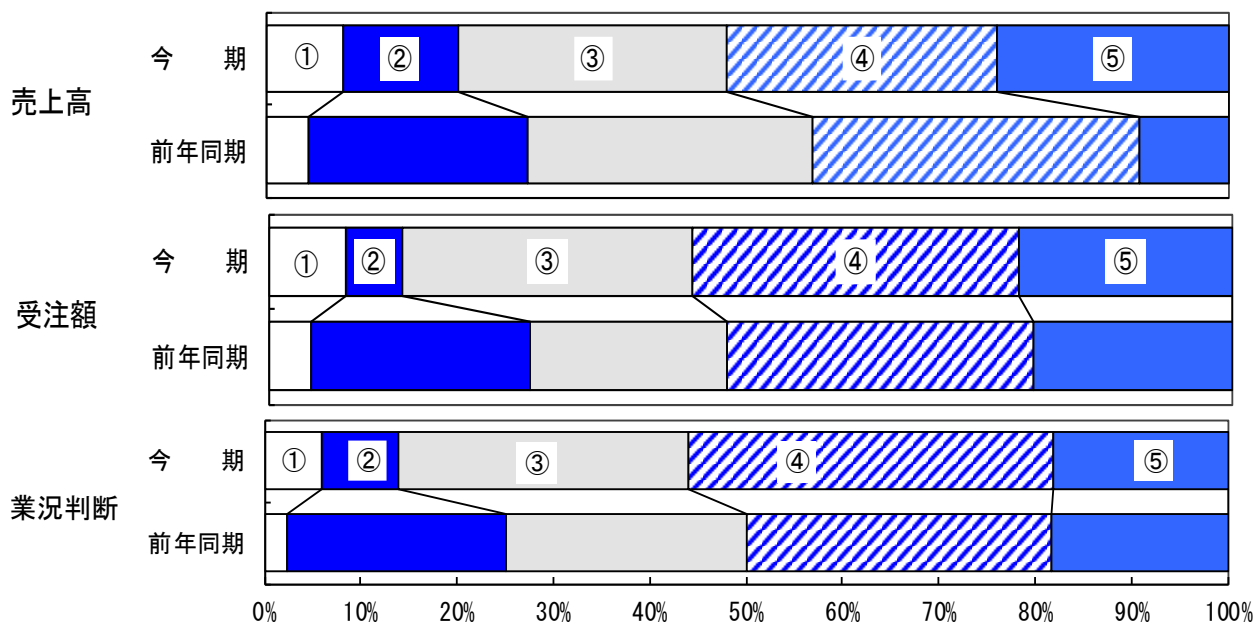
「売上高」では、前年同期は“増加”“やや増加”を合わせた割合が27.2%だったのに対し、今期は20.0%と7.2ポイント低下しました。

「受注額」では同様27.2%だったのに対し、14.0%と13.2ポイント低下しました。

「業況判断」では、前年同期は“かなり良い”“やや良い”を合わせた割合が25.0%だったのに対して、今期は14.0%と11.0ポイント悪化しています。



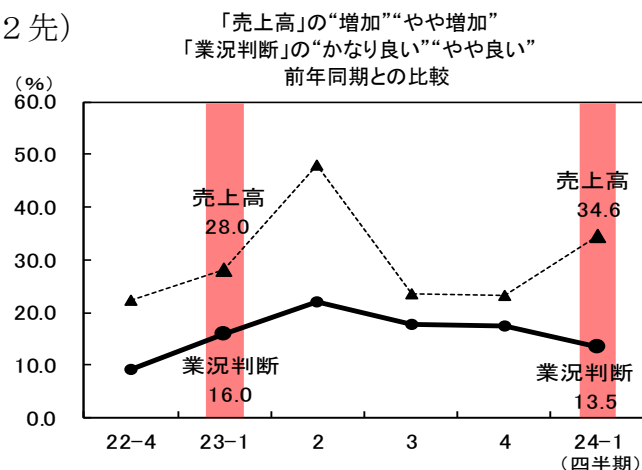
区 分	売 上 高				受 注 額				区 分	業 況 判 断			
	2023年4月～6月		2024年4月～6月		2023年4月～6月		2024年4月～6月			2023年4月～6月		2024年4月～6月	
①増 加	2	4.5	4	8.0	2	4.5	4	8.0	①かなり良い	1	2.3	3	6.0
②やや増加	10	22.7	6	12.0	10	22.7	3	6.0	②やや良い	10	22.7	4	8.0
③変わらず	13	29.5	14	28.0	9	20.5	15	30.0	③良くも悪くもない	11	25.0	15	30.0
④やや減少	15	34.1	14	28.0	14	31.8	17	34.0	④やや悪い	14	31.8	19	38.0
⑤減 少	4	9.1	12	24.0	9	20.5	11	22.0	⑤かなり悪い	8	18.2	9	18.0
合 計	44	100.0	50	100.0	44	100.0	50	100.0	合 計	44	100.0	50	100.0



＜小売業＞（回答数 前年同期 50 先、今期 52 先）

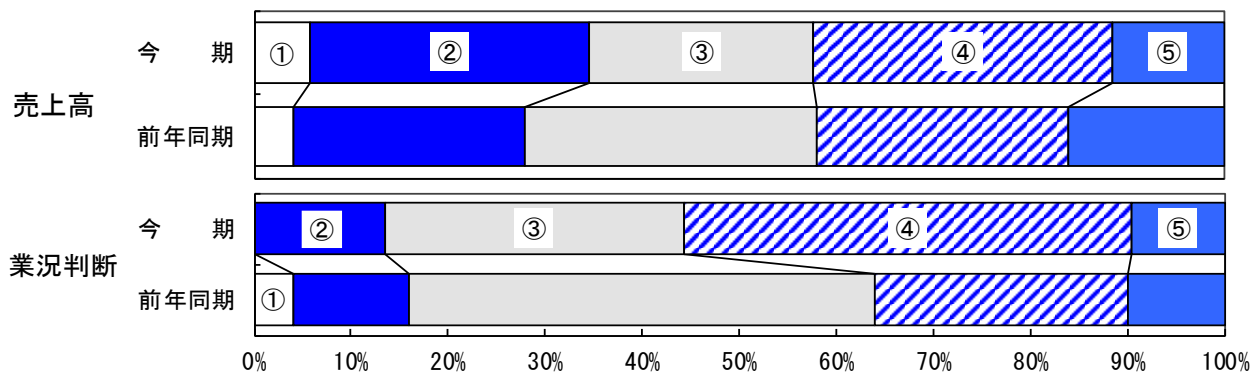
「売上高」では、前年同期は“増加”“やや増加”を合わせた割合が 28.0% だったのに対し、今期は 34.6% と 6.6 ポイント上昇しました。

「業況判断」では、前年同期は“かなり良い”“やや良い”を合わせた割合が 16.0% だったのに対して、今期は 13.5% と 2.5 ポイント悪化しています。



(先、%)

区 分	売 上 高				区 分	業 況 判 断			
	2023年4月～6月		2024年4月～6月			2023年4月～6月		2024年4月～6月	
① 増 加	2	4.0	3	5.8	① かなり良い	2	4.0	0	0.0
② や や 増 加	12	24.0	15	28.8	② や や 良い	6	12.0	7	13.5
③ 変 わ ら ず	15	30.0	12	23.1	③ 良くも悪くもない	24	48.0	16	30.8
④ や や 減 少	13	26.0	16	30.8	④ や や 悪い	13	26.0	24	46.2
⑤ 減 少	8	16.0	6	11.5	⑤ かなり悪い	5	10.0	5	9.6
合 計	50	100.0	52	100.0	合 計	50	100.0	52	100.0



有効求人倍率について

$$\text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$$

公共職業安定所岐阜八幡出張所(郡上市)、高山公共職業安定所の公表資料等を基に、2024年5月の有効求人倍率(学卒を除きパートを含む)を掲載しております。

＜岐阜八幡管内＞

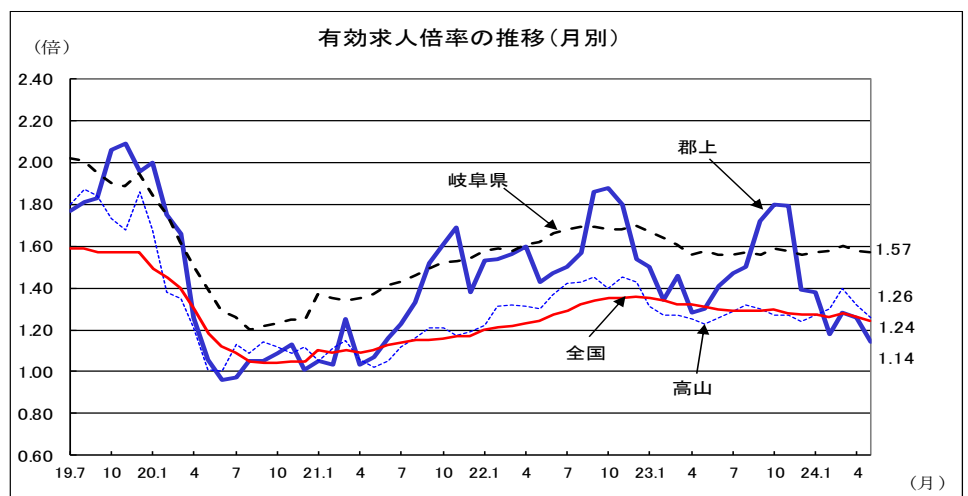
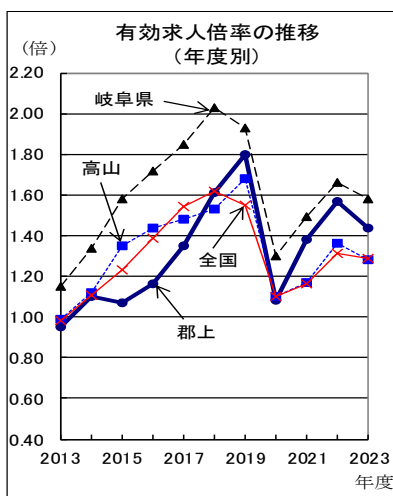
岐阜八幡管内は1.14倍と前月比0.12ポイント低下、前年同月比では0.16ポイント低下となりました。また、新規求人数は140人で前年同月比57人減少となりました。

＜高山管内＞

高山管内は1.26倍と前月比0.06ポイント低下、前年同月比では0.03ポイント上昇となりました。また、新規求人数は905人で前年同月比1人減少となりました。

＜岐阜県および全国＞

岐阜県は1.57倍と前月比および前年同月比では0.01ポイント低下となりました。また、全国は1.24倍と前月比0.02ポイント低下、前年同月比では0.07ポイント低下となりました。



年度別有効求人倍率

区 分	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
郡 上	0.95	1.10	1.07	1.16	1.35	1.61	1.80	1.08	1.38	1.57	1.44
高 山	0.99	1.12	1.35	1.44	1.48	1.53	1.68	1.10	1.17	1.36	1.28
岐阜県	1.15	1.34	1.58	1.72	1.85	2.03	1.93	1.30	1.49	1.66	1.58
全 国	0.98	1.11	1.23	1.39	1.54	1.62	1.55	1.10	1.16	1.31	1.29

有効求人倍率

区 分	2022.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023.1	2	3
郡 上	1.60	1.43	1.47	1.50	1.57	1.86	1.88	1.80	1.54	1.50	1.34	1.46
高 山	1.31	1.30	1.37	1.42	1.43	1.45	1.40	1.45	1.43	1.31	1.27	1.27
岐阜県	1.61	1.62	1.66	1.68	1.69	1.69	1.68	1.68	1.70	1.67	1.64	1.61
全 国	1.23	1.24	1.27	1.29	1.32	1.34	1.35	1.35	1.36	1.35	1.34	1.32

区 分	2023.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2024.1	2	3
郡 上	1.28	1.30	1.41	1.47	1.50	1.72	1.80	1.79	1.39	1.38	1.18	1.28
高 山	1.25	1.23	1.26	1.29	1.32	1.30	1.27	1.27	1.24	1.27	1.30	1.40
岐阜県	1.56	1.58	1.56	1.56	1.57	1.56	1.59	1.58	1.56	1.57	1.58	1.60
全 国	1.32	1.31	1.30	1.29	1.29	1.29	1.30	1.28	1.27	1.27	1.26	1.28

区 分	2024.4	5
郡 上	1.26	1.14
高 山	1.32	1.26
岐阜県	1.58	1.57
全 国	1.26	1.24